

「県立博物館・美術館の今後の在り方」について 第三次答申

令和3年4月21日(水)
教育庁教育振興部文化財課

- ・千葉県生涯学習審議会から、諮問「県立博物館・美術館の今後の在り方」についての最終答申となる第三次答申を得た。
- ・第三次答申は、活性化策を中心に、美術館の在り方について言及している。
- ・今後は、本答申を踏まえ、美術館の活性化計画を策定する。

1 審議の経過

第12期第3回会議 平成30年 3月23日 諮問

※ 社会情勢の変化、公の施設の直し方針(H28)を踏まえ、県立博物館・美術館8施設の在り方検討を要請

第12期第6回会議 平成30年 8月31日 第一次答申

※ 第一次答申は、これからの県立博物館・美術館の役割と在り方、見直しについて、検討の方向性を提示

第13期第4回会議 令和2年 3月23日 第二次答申

※ 第二次答申は、博物館7施設について、個々の施設の在り方と中央博物館への機能集約・強化について言及

(令和2年9月9日教育委員会会議において「千葉県立博物館の今後の在り方」を策定)

令和2年 7月28日 第5回県立博物館・美術館部会開催

令和2年 9月 2日 第6回県立博物館・美術館部会開催

第13期第6回会議 令和2年10月29日 部会での美術館活性化検討の状況を報告

令和3年 1月18日 第7回県立博物館・美術館部会開催

第13期第7回会議 令和3年 1月28日 部会が取りまとめた第三次答申素案を審議

第13期第8回会議 令和3年 3月 9日 第三次答申案を審議後、第三次答申

※ 第三次答申は、残る美術館について、活性化策を中心とする在り方を言及しており、諮問への最終答申

2 第三次答申の概要

- ・「県立美術館の現状と課題」、「県立美術館の目指す姿と活性化策」、「中・長期的な課題」の三部構成。
- ・核心部となる「目指す姿と活性化策」では、目指す姿を「伝統を継承しながらも、新たな取組にもチャレンジし、幅広い年齢層に繰り返し利用してもらえる美術館」と定め、そこに向かうために、広い展示室と創作の場アトリエ棟を活用して現役世代や学校団体、若手芸術家の利用の拡大を図る施策が活性化策として示されている。
- ・「中・長期的な課題」には、活性化策として有効であるが、実現には施設の改修や制度の改正が必要で、早急な取り組みが困難な課題が位置づけられている。

3 今後の予定

本答申を踏まえて活性化計画素案を作成し、パブリックコメントを経て、令和3年度9月を目途に、「千葉県立美術館の活性化について(仮称)」(案)を策定し、教育委員会会議に諮る。